



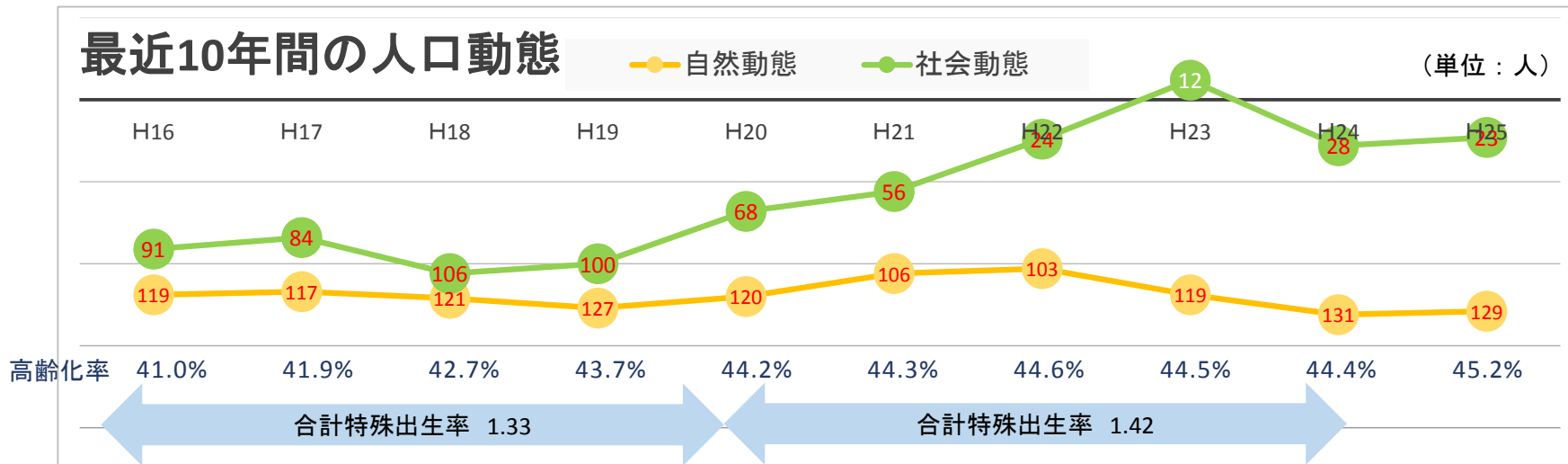
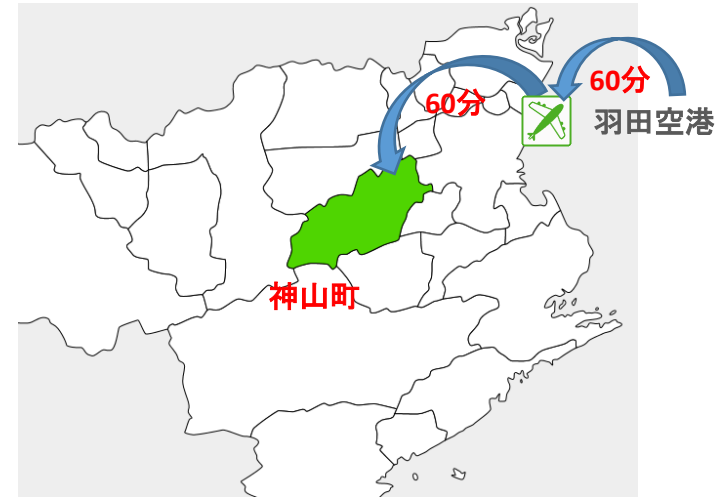
# 徳島県神山町における 地域産業基盤強化施策

2014.10.9

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部

# 徳島県神山町の概要

- 東京 →  60分 徳島 →  60分 神山
- 四国遍路12番札所 焼山寺 **お接待文化**
- 日本一すだちの産地
- 昭和30年 5村が合併 人口20,916人
- 平成17年(50年後) 7,395人  $\Delta 65\%$
- 平成23年度 社会動態 +12人



# 光ファイバの基盤整備



## • 概要

- 都会との情報格差の是正、地デジの難視聴解消
- 全国ブロードバンド構想(H13総務省) & 全県CATV網構想(H14徳島県)
- 国庫補助(3億2千万) + 県補助(1億6百万) + 町村負担(6億44百万)
- 行政では四国初のFTTH(Fiber To The Home)

## • 運用

- H17年9月 85%の加入 **2,500円**(税別)
- 100Mインターネット + 地デジ(BS含) + IP電話
- 10年間のIRU契約により、民間事業者へ設備を貸与、維持管理費をカバー

## • イン神山(in-kamiyama.jp)の構築

- 地域ICT利活用モデル構築事業(総務省)77百万円
- H20年から運用 NPO活動の情報発信

# 移住交流支援センターの委託

- 平成19年10月
  - NPO法人グリーンバレーに150万円で委託
  - 田舎回帰、価値観の多様化により移住ニーズが増加していた
  - 徳島県からの推進
- なぜNPOだったのか
  - アーティスト・イン・レジデンス事業の実績
  - 柔軟な発想、行動力、おもてなしに期待

## 実績

- H25年度までに  
65世帯 116人
- 待機者200人以上

年度	世帯数	人数
H20	3世帯	6人
H21	6世帯	10人
H22	7世帯	18人
H23	14世帯	23人
H24	14世帯	25人
H25	21世帯	34人
H26(現時点)	9世帯	12人



# サテライトオフィスの進出

- 平成22年10月
  - Sansan株式会社(クラウド型名刺管理)
  - 寺田社長 ビジネスの出会いを資産に変え、働き方を革新する
  - 古民家を改修し、東京本社とオンライン会議で結ぶ
- 平成25年7月
  - 株式会社えんがわ(4K8K映像のアーカイブなど)
  - 東日本大震災をきっかけにリスク分散を検討
  - 社員21人のうち19人が県内、うち8人は神山町内の住民
- 現在は11社
  - H25年1月 県+町+NPOが出資 サテライトオフィスコンプレックス
  - フリーランスなど気軽に神山での働き方を体験
  - 付随して新たなカフェやピザ屋などが開業



# 地域経済循環創造事業



- 名称

- サテライトオフィス体験宿泊施設

- 実施主体

- 株式会社神山神領

- 事業費

- 全体9000万円(国費5000万円、金融機関融資3500万円、自己資金500万円)

- 内容

- ビジネス合宿(ワークステイ)宿泊サービス

- 都会の企業が地方のオフィスに社員をグループで派遣し、地元の人と共に合宿方式で一定の課題をなしとげる働き方を手軽に体験できるビジネス合宿(ワークステイ)形態の宿泊サービスを提供
- 主に企業や団体が都会とは違った環境で共同滞在する
- ビジネス面に偏重するのではなく、暮らしと仕事を一体にしていく神山流の新しい働き方の実践もかね、地元民との交流や地元家庭料理の提供など現代人が求めている田舎暮らしの側面も体験

- ワークショップ(WS)

- サテライトオフィスでのワークステイの特徴は、特定の課題を持ち込み神山での滞在の中でその解決を模索していくもの。課題設定の代りとなる多くの仕事系ワークショップを開催し宿泊とセットにして提供
- 仕事系ワークショップは、田舎でのネットを活用したビジネスや個人の生業につながるようなテーマを設定

